

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1・2年後期	1・2	2	選択
担当教員			
脇坂 圭一・長尾 亜子・田井 幹夫			
添付ファイル			

講義概要	持続可能な社会を作るために、社会基盤である建築に求められるサスティナビリティを目標とした提案性の高い設計課題を行う。課題においては歴史的、文化的、環境的な背景を考慮することで、社会における建築の役割を考察する。また設計における伝達技術の可能性を広げ、図面や模型、3Dを用いて高度なプレゼンテーションを行う。		
授業計画	01	ガイダンス、課題 1 提示 ・受講 ・本演習の進め方の説明 ・課題 1 の提示	
	02	課題 1_エスキス 1 ・リサーチ 1、対象敷地のコンテキストの読み取り ・リサーチ 2、対象敷地及び周辺環境の歴史的変遷、文化的背景の把握 ・リサーチ 3、課題対象地の与条件の整理及び基本コンセプトの設定 ・既往研究との位置付け	
	03	課題 1_エスキス 2 ・設計の基本構想作業およびエスキスチェック	
	04	課題 1_エスキス 3 ・与条件の整理および設計の基本構想の確認 ・エスキスチェック	
	05	課題 1_エスキス 4 __中間提出 ・基本設計の確認	
	06	課題 1_エスキス 5 ・最終発表用プレゼンテーションの準備作業	
	07	課題 1_エスキス 6 ・最終発表用プレゼンテーションの準備作業	
	08	課題 1_最終発表・講評会 及び 課題 2_課題提示 ・設計内容をプレゼンテーションし、講評を受ける。 ・課題 2 の提示	
	09	課題 2_エスキス 1 ・リサーチ 1、対象敷地のコンテキストの読み取り ・リサーチ 2、対象敷地及び周辺環境の歴史的変遷、文化的背景の把握 ・リサーチ 3、課題対象地の与条件の整理及び基本コンセプトの設定 ・既往研究との位置付け	
	10	課題 2_エスキス 2 ・設計の基本構想作業およびエスキスチェック	
	11	課題 2_エスキス 3 ・与条件の整理および設計の基本構想の確認 ・エスキスチェック	
	12	課題 2_エスキス 4 __中間発表 ・基本設計の確認	
	13	課題 2_エスキス 5 ・最終発表用プレゼンテーションの準備作業	
	14	課題 2_エスキス 6 ・最終発表用プレゼンテーションの準備作業	
	15	課題 2_最終発表・講評会 ・設計内容をプレゼンテーションし、講評を受ける。 ・課題 2 の提示	
授業形態	授業の各段階において教員によるエスキスを行うスタジオ形式である。 アクティブラーニング：①:14回, ②:14回, ③:0回, ④:14 回, ⑤:14 回, ⑥:14 回		
達成目標	1：建築の歴史への洞察を建築史的な視点からだけでなく、現実の都市空間との関係性を含めて理解する。 2：文化的背景への視座を持ちながら、現在の都市空間の構造を理解する。 3：歴史的文化的背景を後世へ伝えていくための方法論を、建築計画的、意匠学的視点から修得する。 4：プレゼンテーション技術の可能性を広げることで社会の中でのリーダーシップを発揮しうるパーソナリティの育成を養う。		
評価方法・フィードバック	各テーマ毎のリサーチ20%、パネル50%、模型20%、質疑応答10%の総合成績で評価する。 課題についてはフィードバックする。		
評価基準	各テーマ毎の課題レポートと最終レポートの総合点による。 秀(1～4)：100～90点、優(1～4)：89～80点、良(1～3)：79～70点、可(1～3)：69～60点、不可：59点以下		
教科書・参考書	教科書：特になし、授業前に資料を配布する。 参考書：授業時に提示する		

履修条件	・「建築設計B2（相当）」を履修していること。 ・「建築情報論」「建築空間論」「計画デザイン論」「意匠計画論」を受講すること。
履修上の注意	・建築の歴史および計画の基礎的知識があること。西洋建築史、近代建築史、建築計画を履修していること。 ・文化的背景を考察する基礎的知識があること。
準備学習と課題の内容	課題設定に対して、各回のエスキスチェックを受け、中間発表でのレビューを受け止め、更なるアイデアの検討を経た後、最終発表および講評会を実施する。 ・授業時に示された準備学習の内容（1h）を行うこと。 ・授業関連の資料を調べるなどの復習（1h）を行うこと。 ・授業時に示した演習課題（1h）を行うこと。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:25%, 思考・判断:25%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:30%